

# 履 修 案 内

令和6年度  
(2024)

佐 賀 大 学 大 学 院  
地 域 デ ザ イ ン 研 究 科

# 目 次

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	3
カリキュラムマップ	5
授業科目の選び方	7
履修モデル【芸術デザインコース】	8
履修モデル【地域マネジメントコース】	1 1
研究指導計画	1 3
履修について，修了要件と学位	1 4
修士論文要領	1 5
教育職員免許状（専修）取得について	1 8
社会人のための特例による教育の実施について	2 1
佐賀大学大学院地域デザイン研究科規則	2 2
佐賀大学大学院地域デザイン研究科履修細則	2 6
設置科目・開講科目	3 1

## 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

学位授与の方針を以下のように定め、教育課程をその方針に沿って編成し、学生に以下の各項目を身につけさせる。大学院学則に定める単位を修得し修士論文を提出した者について修了判定を行い、合格とされた者に対し、地域デザイン研究科委員会の議を経て、学長が修了を認定し学位を授与する。

### 地域デザイン専攻

#### 【学位授与の方針】

本専攻では、研究科・専攻の目的を踏まえ、以下に示す学習成果の達成を学位授与の方針とする。教育課程をその方針に沿って編成し、学生に以下の各項目を身につけさせる。大学院学則に定める単位修得と修士論文審査合格の修了要件を満たしたものについて、地域デザイン研究科委員会の議を経て、学長が修了を認定し学位を授与する。

- ① 専門分野での研究活動を通じて、分野を横断できる調査研究能力をもち、地域の課題を自ら発見し、課題解決に主体的に取り組むことができる能力を身につけている。
- ② 専門分野及び関連する諸分野での高度な知識を基盤とし、企業や自治体の中で地域活性化に中心となって取り組むことができる能力を身につけている。
- ③ 幅広い教養と視野をもって、地域の経済・文化の総合的発展と地域の歴史的・文化的資源の再生・活用に貢献できる能力を身につけている。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

### 地域デザイン専攻

#### 【教育課程編成・実施の方針】

学位授与の方針を具現化するために、以下の方針の下に教育課程を編成・実施する。

#### 1) 教育課程の編成

- ① 学位授与の方針①を達成するために、「修士論文指導科目」を配置する。
- ② 学位授与の方針②を達成するために、「専門科目」を配置する。また、専門科目を科目群にわけ、複数科目群から履修させる。
- ③ 学位授与の方針③を達成するために、「大学院教養教育プログラム」及び「共通基礎科目」を配置する。
- ④ 学位授与の方針①②③を達成するために、修士論文の審査及び最終試験を実施する。

#### 2) 教育の実施体制

- ① 各授業科目は、その内容に適合した教育能力を有する教員を配置して実施する。
- ② 教育委員会は教育課程の編成・実施に関する課題分析及びその改善について検討し、研究科委員会で審議・決定し、これを実施する。
- ③ 全ての授業科目でシラバスを明示し、各授業科目の学修内容、到達目標、成績評価の方法・基準を学生に周知する。
- ④ 各学期末には学生による授業評価アンケートを実施し、これをもとに授業改善を行う。
- ⑤ 各学生に対し1年次より主指導教員1名、副指導教員を2名配置し、適切な指導が行われることを担保する。
- ⑥ 指導教員は学生に、学期の始めと終わりに面談による履修指導を行い、その内容を主指導教員及び副指導教員がチェックし研究指導実施報告書を作成する。
- ⑦ 授業科目間の関連や科目内容の難易度を表現するコースナンバリングを行い、カリキュラムマップ及び履修モデルによってカリキュラムの構造を明示する。
- ⑧ ルーブリックを用いて、2年間にわたる研究活動を総括的に評価する。

#### 3) 教育の実施方法

- ① 各授業科目は、シラバスに明示された講義概要、授業計画に従って実施する。
- ② 授業の実施にあたって、各教員はティーチング・ポートフォリオに基づいた教育理念と教育方法を学生に説明する。
- ③ 各学生に主指導教員並びに副指導教員を配置し、履修指導や研究支援、修士論文執筆指導を行う。
- ④ 研究進捗を把握するために、1年次終了時と2年次後期に報告会を実施する。

#### 4) 学修成果の評価

- ① 授業科目担当教員は、測定する到達目標の特性に応じた筆記試験、レポート（論文）、作品、発表、活動内容等に基づき学修成果の評価を行う。
- ② 個別の授業科目の成績評価方法については、シラバスに明示する。
- ③ 成績評価は成績評価基準に基づき判定する。

評語 (評価)	評点	評価基準	合否判定	成績評定 (GP)
秀	90点以上	学修到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を上げている。	合格	4
優	80点以上 90点未満	学修到達目標を十分に達成している。		3
良	70点以上 80点未満	学修到達目標をおおむね達成している。		2
可	60点以上 70点未満	学修到達目標を最低限達成している。		1
不可	60点未満	学修到達目標を達成していない。	不合格	0

※評点は0点から100点とする。

※上記により評価が難しい授業科目は、合又は不可の評語によって表し、合を合格とし、不可を不合格とする。

- ④ 修士論文審査及び最終試験は、主査1名、副査2名以上によって実施する。
- ⑤ 教育課程を通じた学修成果は、学位論文及び各授業科目の成績を用いて総合的に評価する。
- ⑥ 成績評価の結果は、評価分布等を使用して定期的に点検を行い、必要に応じて教育方法等の改善を行う。

芸術デザインコースにおける教育目標を達成するための授業科目の流れ(カリキュラムマップ)

学位授与の方針	授業科目名			
	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
1	研究基礎論Ⅰ	研究基礎論Ⅱ	課題研究Ⅰ	課題研究Ⅱ
	特別演習Ⅰ	特別演習Ⅱ		
2	大学院教養教育プログラム	大学院教養教育プログラム		
	異文化コミュニケーションa	キュレーション演習		
	地域創生とアート	国際関係と地域研究		
	応用経済分析	やきものによる地域創生		
	応用データ分析	キュレーション特別研究a		
	都市デザイン論	ヘリテージマネジメント論		
	都市空間論			
3	地域史特別研究Ⅰ	都市デザイン特別研究		
	文化交流史研究a	都市空間特別研究		
	地域マネジメント史研究	地域史特別研究Ⅱ		
	地域マーケティング研究	文化交流史研究b		
	キュレーション特別研究b	現代政治経済学研究		
	アートマネジメント・プロデュース特別研究a	都市・交通経済分析研究		
	ヘリテージマネジメント特別研究	芸術文化遺産特別研究		
	流通経済研究	アートマネジメント・プロデュース特別研究b		
	視覚デザイン特別研究a	異文化コミュニケーションb		
	情報デザイン特別研究a	マーケティング研究		
	彫刻素材技法特別研究	財務会計研究		
	西洋画素材技法特別研究	経営財務研究		
	日本画素材技法特別研究	視覚デザイン特別研究b		
	染色工芸素材技法特別研究	情報デザイン特別研究b		
	漆・木工芸素材技法特別研究	彫刻表現特別研究		
	窯芸素材技法特別研究	西洋画表現特別研究		
	陶磁素材特別研究a	日本画表現特別研究		
	肥前陶磁技法特別研究a	染色工芸表現特別研究		
	プロダクトデザイン特別研究a	漆・木工芸表現特別研究		
	現代美術特別研究a	窯芸表現特別研究		
	映像デザイン特別研究a	陶磁素材特別研究b		
	概念芸術特別研究a	肥前陶磁技法特別研究b		
	アートコンソーテーション特別研究	プロダクトデザイン特別研究b		
	美術史特別研究Ⅰ	現代美術特別研究b		
		映像デザイン特別研究b		
		概念芸術特別研究b		
		美術史特別研究Ⅱ		

地域マネジメントコースにおける教育目標を達成するための授業科目の流れ（カリキュラムマップ）

学位授与 の方針	授 業 科 目 名			
	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
1	研究基礎論Ⅰ	研究基礎論Ⅱ	課題研究Ⅰ	課題研究Ⅱ
	特別演習Ⅰ	特別演習Ⅱ		
2	大学院教養教育プログラム	大学院教養教育プログラム		
	異文化コミュニケーションa	キュレーション演習		
	地域創生とアート	国際関係と地域研究		
	応用経済分析	やきものによる地域創生		
	応用データ分析	キュレーション特別研究a		
	都市デザイン論	ヘリテージマネジメント論		
	都市空間論			
3	地域史特別研究Ⅰ	都市デザイン特別研究		
	文化交流史研究a	都市空間特別研究		
	地域マネジメント史研究	地域史特別研究Ⅱ		
	地域マーケティング研究	文化交流史研究b		
	キュレーション特別研究b	現代政治経済学研究		
	アートマネジメント・プロデュース特別研究a	都市・交通経済分析研究		
	ヘリテージマネジメント特別研究	芸術文化遺産特別研究		
	流通経済研究	アートマネジメント・プロデュース特別研究b		
	応用ミクロ経済分析	異文化コミュニケーションb		
	日本経済研究	マーケティング研究		
	経済学史研究	財務会計研究		
	国際経済研究	経営財務研究		
	農業経済研究	マクロ経済学研究		
	経営情報処理研究	開発経済論研究		
	労働関係法研究	証券分析研究		
	社会保障法研究	経営情報研究		
	環境法研究	経済経営データ分析研究		
	管理会計研究	応用計量経済学研究		
		民事取引法研究		
		国際経済史研究		

## 授業科目の選び方

- (1) 自分の研究目的にそって、授業科目シラバスに記載された内容及び指導教員の意見を参考にしながら、履修細則に定める修了要件を満たすよう履修する。
- (2) 科目分類及び実施法  
科目分類・科目群が設定されているので、修了要件を確認し履修をすすめる。  
大学院教養教育プログラム（講義）：佐賀大学研究科で設定された大学院の教養科目  
共通基礎科目（講義）：専攻の基盤となる分野に関する講義及び学生による報告と討論  
専門科目（講義）：科目群が設定された教育研究分野での各専門分野についての教員による講義及び学生による報告と討論  
修士論文指導科目（演習）：学生自らの研究分野に関して、修士論文作成を目的とする  
学生の研究発表と教員による指導
- (3) 研究目的及び獲得する能力に対応した履修モデル例を示しておく。

地域デザイン研究科 履修モデル(コース毎)

【芸術デザインコース】芸術研究

履修モデル① 西洋画を専門とした作家

開講年次	大学院教養教育プログラム	共通基礎科目	専門科目(登録した科目群)	専門科目(その他の科目群)	修士論文指導科目	履修登録 単位数
1年前期	学術英語特論	研究基礎論Ⅰ	西洋画素材技法特別研究	地域マーケティング研究	特別演習Ⅰ	17単位
		応用経済分析				
1年後期	ダイバーシティ・人権教育特論	研究基礎論Ⅱ	西洋画表現特別研究	芸術文化遺産特別研究	特別演習Ⅱ	19単位
		ヘリテージマネジメント論				
2年前期		異文化コミュニケーションa			課題研究Ⅰ	12単位
2年後期					課題研究Ⅱ	12単位
履修登録単位数	2単位	14単位	8単位	6単位	30単位	60単位

履修モデル② 日本画を専門として専修免許(中高美術)を取得

開講年次	大学院教養教育プログラム	共通基礎科目	専門科目(登録した科目群)	専門科目(その他の科目群)	修士論文指導科目	履修登録 単位数
1年前期	学術英語特論	研究基礎論Ⅰ	日本画素材技法特別研究	地域史特別研究Ⅰ	特別演習Ⅰ	17単位
		応用経済分析				
1年後期	ダイバーシティ・人権教育特論	研究基礎論Ⅱ	日本画表現特別研究		特別演習Ⅱ	19単位
		国際関係と地域研究	概念芸術特別研究b			
2年前期			西洋画素材技法特別研究		課題研究Ⅰ	14単位
2年後期		ヘリテージマネジメント論	西洋画表現特別研究	芸術文化遺産特別研究	課題研究Ⅱ	22単位
履修登録単位数	2単位	14単位	20単位	6単位	30単位	72単位

履修モデル③ 美術史美術理論を専門とした学芸員

開講年次	大学院教養教育プログラム	共通基礎科目	専門科目(登録した科目群)	専門科目(その他の科目群)	修士論文指導科目	履修登録 単位数
1年前期	学術英語特論	研究基礎論Ⅰ	美術史特別研究Ⅰ	地域史特別研究Ⅰ	特別演習Ⅰ	19単位
		異文化コミュニケーションa	アートコンサベーション特別研究			
1年後期	ダイバーシティ・人権教育特論	研究基礎論Ⅱ				17単位
		国際関係と地域研究	美術史特別研究Ⅱ	芸術文化遺産特別研究	特別演習Ⅱ	
2年前期		応用データ分析			課題研究Ⅰ	12単位
2年後期					課題研究Ⅱ	12単位
履修登録単位数	2単位	14単位	8単位	6単位	30単位	60単位



## 履修モデル④ セラミックを専門とした作家

開講年次	大学院教養教育プログラム	共通基礎科目	専門科目(登録した科目群)	専門科目(その他の科目群)	修士論文指導科目	履修登録 単位数
1年前期	学術英語特論	研究基礎論Ⅰ	窯芸素材技法特別研究	地域史特別研究Ⅰ	特別演習Ⅰ	19単位
			肥前陶磁技法特別研究a			
1年後期	ダイバーシティ・人権教育特論	研究基礎論Ⅱ	陶磁素材特別研究b		特別演習Ⅱ	15単位
		やきものによる地域創生				
2年前期		異文化コミュニケーションa		流通経済研究	課題研究Ⅰ	20単位
		応用データ分析				
2年後期			窯芸表現特別研究		課題研究Ⅱ	20単位
			プロダクトデザイン特別研究b			
履修登録単位数	2単位	14単位	20単位	4単位	30単位	70単位

## 履修モデル⑤ 彫刻を専門として専修免許(中高美術)を取得

開講年次	大学院教養教育プログラム	共通基礎科目	専門科目(登録した科目群)	専門科目(その他の科目群)	修士論文指導科目	履修登録 単位数
1年前期	学術英語特論	研究基礎論Ⅰ	彫刻素材技法特別研究	地域史特別研究Ⅰ	特別演習Ⅰ	19単位
		応用経済分析				
		都市デザイン論				
1年後期	ダイバーシティ・人権教育特論	研究基礎論Ⅱ	彫刻表現特別研究		特別演習Ⅱ	19単位
		ヘリテージマネジメント論	概念芸術特別研究b			
2年前期			視覚デザイン特別研究a		課題研究Ⅰ	14単位
2年後期			現代美術特別研究b	芸術文化遺産特別研究	課題研究Ⅱ	20単位
履修登録単位数	2単位	14単位	20単位	6単位	30単位	72単位

## 履修モデル⑥ ミクストメディアを専門とした地方自治体職員

開講年次	大学院教養教育プログラム	共通基礎科目	専門科目(登録した科目群)	専門科目(その他の科目群)	修士論文指導科目	履修登録 単位数
1年前期	学術英語特論	研究基礎論Ⅰ	現代美術特別研究a	地域マーケティング研究	特別演習Ⅰ	17単位
		異文化コミュニケーションa				
1年後期	ダイバーシティ・人権教育特論	研究基礎論Ⅱ	現代美術特別研究b		特別演習Ⅱ	19単位
		ヘリテージマネジメント論	概念芸術特別研究b			
2年前期		応用経済分析		ヘリテージマネジメント特別研究	課題研究Ⅰ	14単位
2年後期					課題研究Ⅱ	12単位
履修登録単位数	2単位	14単位	12単位	4単位	30単位	62単位

## 履修モデル⑦ 染色を専門とした作家

開講年次	大学院教養教育プログラム	共通基礎科目	専門科目(登録した科目群)	専門科目(その他の科目群)	修士論文指導科目	履修登録 単位数
1年前期	学術英語特論	研究基礎論Ⅰ	染色工芸素材技法特別研究	地域マーケティング研究	特別演習Ⅰ	17単位
		応用経済分析				
1年後期	ダイバーシティ・人権教育特論	研究基礎論Ⅱ	染色工芸表現特別研究	芸術文化遺産特別研究	特別演習Ⅱ	19単位
		キュレーション演習				
2年前期		異文化コミュニケーションa			課題研究Ⅰ	12単位
2年後期					課題研究Ⅱ	12単位
履修登録単位数	2単位	14単位	8単位	6単位	30単位	60単位

地域デザイン研究科 履修モデル(コース毎)

【芸術デザインコース】 地域研究

履修モデル① まちづくりの企画・立案・実施において活躍できる人材

開講年次	大学院教養教育プログラム	共通基礎科目	専門科目(登録した科目群)	専門科目(その他の科目群)	修士論文指導科目	履修登録単位数
1年前期	学術英語特論	研究基礎論Ⅰ	地域マネジメント史研究	映像デザイン特別研究a	特別演習Ⅰ	19単位
	キャリアデザイン特論	異文化コミュニケーションa				
		都市デザイン論				
1年後期		研究基礎論Ⅱ	都市デザイン特別研究	マーケティング研究	特別演習Ⅱ	15単位
		キュレーション演習				
2年前期		応用データ分析	地域史特別研究Ⅰ	アートマネジメント・プロデュース特別研究a	課題研究Ⅰ	16単位
2年後期					課題研究Ⅱ	12単位
履修登録単位数	2単位	16単位	6単位	8単位	30単位	62単位

履修モデル② 地域振興においてリーダーシップを発揮できる人材

開講年次	大学院教養教育プログラム	共通基礎科目	専門科目(登録した科目群)	専門科目(その他の科目群)	修士論文指導科目	履修登録単位数
1年前期	学術英語特論	研究基礎論Ⅰ	地域マーケティング研究	アートコンサベーション特別研究	特別演習Ⅰ	15単位
1年後期	キャリアデザイン特論	研究基礎論Ⅱ	都市デザイン特別研究		特別演習Ⅱ	19単位
		キュレーション演習	流通経済研究			
		ヘリテージマネジメント論	都市・交通経済分析研究			
2年前期		応用データ分析		アートマネジメント・プロデュース特別研究a	課題研究Ⅰ	14単位
2年後期					課題研究Ⅱ	12単位
履修登録単位数	2単位	14単位	8単位	6単位	30単位	60単位

履修モデル③ 地域創生の国際的展開に貢献できる人材

開講年次	大学院教養教育プログラム	共通基礎科目	専門科目(登録した科目群)	専門科目(その他の科目群)	修士論文指導科目	履修登録単位数
1年前期	学術英語特論	研究基礎論Ⅰ	地域史特別研究Ⅰ		特別演習Ⅰ	15単位
	キャリアデザイン特論	異文化コミュニケーションa	地域マネジメント史研究			
1年後期		研究基礎論Ⅱ	地域史特別研究Ⅱ		特別演習Ⅱ	17単位
		国際関係と地域研究				
		ヘリテージマネジメント論	文化交流史研究b			
2年前期				美術史特別研究Ⅰ	課題研究Ⅰ	14単位
				ヘリテージマネジメント特別研究		
2年後期				異文化コミュニケーションb	課題研究Ⅱ	14単位
履修登録単位数	2単位	14単位	8単位	6単位	30単位	60単位

## 地域デザイン研究科 履修モデル（コース毎）

### 【地域マネジメントコース】

履修モデル① 文化を活用し、地域経済振興に貢献する人材（地域研究科目群）

開講年次	大学院教養教育プログラム	共通基礎科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期	キャリアデザイン特論	研究基礎論Ⅰ	文化交流史研究a		特別演習Ⅰ	16単位
		応用経済分析	地域マーケティング研究			
1年後期	データサイエンス特論	研究基礎論Ⅱ	文化交流史研究b	マーケティングサイエンス研究	特別演習Ⅱ	18単位
		ヘリテージマネジメント論				
2年前期		都市デザイン論	地域史特別研究Ⅰ	応用ミクロ経済研究	課題研究Ⅰ	12単位
2年後期			地域史特別研究Ⅱ		課題研究Ⅱ	14単位
履修登録 単位数	2単位	14単位	10単位	4単位	30単位	60単位

履修モデル② 地域経済の国際的展開に貢献する人材（経済・経営科目群）

開講年次	大学院教養教育プログラム	共通基礎科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期	学術英語特論	研究基礎論Ⅰ	国際経済研究		特別演習Ⅰ	17単位
	キャリアデザイン特論	異文化コミュニケーションa	農業経済研究			
1年後期		研究基礎論Ⅱ	開発経済論研究	マーケティング研究	特別演習Ⅱ	19単位
		国際関係と地域研究				
		キュレーション特別研究a	マクロ経済学研究			
2年前期				地域マネジメント史研究	課題研究Ⅰ	10単位
2年後期					課題研究Ⅱ	14単位
履修登録 単位数	2単位	14単位	12単位	4単位	30単位	60単位

履修モデル③ 社会人のリカレント経営教育（経済・経営科目群）

開講年次	大学院教養教育プログラム	共通基礎科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期		研究基礎論Ⅰ	管理会計研究		特別演習Ⅰ	12単位
		異文化コミュニケーションa				
1年後期		ヘリテージマネジメント論	経営情報研究	財務会計研究		10単位
				マーケティング研究		
				マーケティングサイエンス研究		
2年前期	情報セキュリティ特論	応用経済分析		地域マーケティング研究		5単位
2年後期	データサイエンス特論	研究基礎論Ⅱ	経済経営データ分析研究		特別演習Ⅱ	11単位
3年前期					課題研究Ⅰ	10単位
3年後期					課題研究Ⅱ	12単位
履修登録 単位数	2単位	14単位	6単位	8単位	30単位	60単位

※勤務状況等を考慮し、長期履修制度を利用し、3年目に修士論文作成に専念するモデル。

履修モデル④ グローバルな視点から持続的な経済社会の発展に貢献する人材（経済・経営研究科目群）

開講年次	大学院教養教育プログラム	共通基礎科目	専門科目 (登録した科目群)	専門科目 (その他の科目群)	修士論文 指導科目	履修登録 単位数
1年前期	地域連携キャリア研修	研究基礎論Ⅰ			特別演習Ⅰ	16単位
		応用データ分析				
		異文化コミュニケーションa				
1年後期		研究基礎論Ⅱ	開発経済論研究	異文化コミュニケーションb	特別演習Ⅱ	20単位
		国際関係と地域研究	国際経済史研究			
			経済経営データ分析研究			
2年前期	学術英語特論		国際経済研究		課題研究Ⅰ	11単位
			日本経済研究			
2年後期				現代政治経済学研究	課題研究Ⅱ	14単位
履修登録 単位数	3単位	14単位	10単位	4単位	30単位	61単位

※英語授業にかかる履修モデル

## 研究指導計画

年次	目的	時期		内容
		秋季入学	春季入学	
1年次	研究計画明確化のための指導及びそれに沿った研究指導と履修指導	10月	4月	主指導教員及び副指導教員の決定 研究科教務委員会による履修ガイダンス 主指導教員による履修指導 学生による研究実施計画書の作成に対する指導 研究テーマの設定 研究指導計画書
		4月	10月	研究実施報告書及び進捗状況の把握に基づく指導 研究指導計画書
		8月 8～9月	2月 2～3月	研究進捗状況に関する報告会 研究実施報告書及び進捗状況の把握に基づく指導
2年次	学位論文の作成の指導	10月	4月	研究指導計画書 学位論文テーマの確定 学位論文作成方針の明確化のための指導
		4月 4～5月	10月 10～11月	研究実施報告書及び進捗状況の把握に基づく指導 研究指導計画書 学位論文の中間報告会
		6月	12月	学位論文の題目及び概要の提出 主査、副査の決定
		7月	1月	学位論文提出
		8月	2月	研究実施報告書（総括と提出） 修士研究ルーブリック評価 学位論文審査
		9月	3月	学位授与

## 履修について

- 1 Webによる履修登録になるので、詳細は学生便覧「履修登録について（授業を受ける前に!）」を参照すること。不明な点があれば教務課地域デザイン研究科教務担当に問い合わせること。
- 2 集中講義は学期途中から開始されるので、その都度履修登録手続きをすること。  
研究基礎論・特別演習・課題研究の時間割は、教員と学生との話し合いにより決定する。

## 修了要件と学位

### (1) 修了要件

本研究科に原則として2年以上在学して、所定の授業科目について60単位（演習30単位，その他30単位）以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、本研究科に1年以上在学すれば足りるものとする。

### (2) 学 位

上記修了要件を満たした者には、修士（地域デザイン）の学位を授与する。

# 修士論文要領

(平成28年3月16日制定)

(学位の申請)

第1 所定の授業科目の単位を修得した者又は修得見込みの者は、修士論文を提出し、学位を研究科長に申請することができる。

(提出書類)

第2 修士の学位を申請する場合は、次に掲げる書類を、第3に定める期限までに学務部教務課に提出するものとする。

- (1) 学位申請書 1部
- (2) 修士論文 4部 (3部は写しとすることができる。)
- (3) 論文要旨 4部 (3部は写しとすることができる。)

2 前項の書類の提出にあたっては、事前に修士論文の題目を第3に定める期限までに学務部教務課に提出しなければならない。

(提出期限)

第3 修士論文の提出期限は、修了年度の1月20日午後5時までとし、芸術デザインコースの修了制作の提出期限は、修了年度の1月末を目安とし、具体的な期日については作品展日程に応じて年度毎に指示を行う。また、論文題目の提出期限は、前年12月20日午後5時までとする。(提出期限の日が、土曜、日曜又は休日の場合は、直後の平日を期限日とする。以下この項において同じ。)

なお、9月に修了が予定される者の修士論文の提出期限は、修了年度の7月20日午後5時までとし、芸術デザインコースの修了制作の提出期限は、修了年度の7月31日午後5時までとする。また、論文題目の提出期限は、6月20日午後5時までとする。

(使用言語)

第4 修士論文は、日本語を原則とする。なお、英語については、申し出により別途考慮することがある。

(字数)

第5 修士論文の字数は2万字以上とし、併せて論文要旨(1,000字以内)を提出するものとする。ただし、修士論文の字数については申し出により、内容及びテーマを勘案して別途考慮することがある。

なお、英語論文の字数(論文要旨の字数も含む。)については、第4の考慮の際併せて考慮する。

(言語と字数に別途考慮を求める者の手続)

第6 第4及び第5に規定する別途考慮を求める者は、あらかじめその旨を主旨導教員に申し出て、許可を受けなければならない。主旨導教員は副指導教員と協議し許可、不許可を判断し、主旨導教員が学生に通知する。

なお、許可を受けた場合は、論文題目提出時にその旨を付記するものとする(付記のない場合は、2万字以上の日本語による論文提出予定者とみなす。)

(用紙)

第7 修士論文及び論文要旨については、A4判白紙に全角を1字として1ページに1,200字程度となるよう印字することを原則とする。原稿用紙を用いる場合は、A4判400字詰原稿用紙を使用するものとする。

(口頭試問)

第8 修士論文提出者は、指導教員が指定する日時（修了年度の2月中を予定。ただし、9月に修了が予定される者については、修了年度の8月中を予定。）に修士論文に関する口頭試問を受けなければならない。

(修士論文及び修了制作の評価基準)

第9 修士論文及び修了制作の評価基準は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 修士論文の題目に関する文献・資料を広く渉猟していること。
- (2) 当該研究分野の既存の研究動向をよく踏まえていること、そして独自の分析視点が組み入れられていること。
- (3) 上記の内容が首尾一貫性を有し、目次、結論、論文要旨を通じ、論文全体の構成が明快になっていること。
- (4) 修士論文審査における質疑応答において明晰な論文内容及び趣旨が、報告又は説明されること。
- (5) 修了制作は明確な制作意図が表現されていること。そして修了制作発表を行うこと。

附 則

この要領は、平成28年4月1日から実施する。

附 則（令和2年12月23日改正）

この要領は、令和3年4月1日から実施する。



年 月 日

佐賀大学大学院

地域デザイン研究科長 様

専攻名

学籍番号

氏名

地域デザイン研究科修士論文題目の届出について

このことについて、地域デザイン研究科修士論文要領第2に基づき下記のとおり届出いたします。

記

1. 修士論文題目

2. 指導教員名

主指導教員

副指導教員

副指導教員

3. その他特記事項

(地域デザイン研究科修士論文要領第4及び第5の考慮について、該当があればその旨を記載)

## 教育職員免許状（専修）取得について

当該免許状の一種免許状を有する者（所要資格を満たしている者を含む）が、修士の学位を取得し、かつ当該研究科において教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得（←認定を受けた科目から24単位以上を修得）したときは、次に示す教育職員免許状を取得することができる。（上記の「修士の学位を取得」には、大学院に1年以上在学し、30単位以上を修得した場合を含む。）

専 攻	コース	教育職員免許状の種類	免許の教科
地域デザイン専攻	芸術デザインコース	中学校教諭専修免許状	美 術
		高等学校教諭専修免許状	美 術
		高等学校教諭専修免許状	工 芸
	地域マネジメントコース	高等学校教諭専修免許状	商 業

芸術デザインコース

科目分類	授業科目	単位数	中学校	高校	
			美術	美術	工芸
共通基礎科目	異文化コミュニケーション a	2	○	○	○
	地域創生とアート	2	○	○	○
	キュレーション演習	2	○	○	○
	キュレーション特別研究a	2	○	○	○
マネジメント研究 科目群	キュレーション特別研究b	2	○	○	○
	芸術文化遺産特別研究	4	○	○	○
	アートマネジメント・プロデュース特別研究a	2	○	○	○
	アートマネジメント・プロデュース特別研究b	2	○	○	○
芸術研究 科目群	視覚デザイン特別研究a	4	○	○	
	視覚デザイン特別研究b	4	○	○	
	情報デザイン特別研究a	4	○	○	○
	情報デザイン特別研究b	4	○	○	○
	彫刻素材技法特別研究	4	○	○	
	彫刻表現特別研究	4	○	○	
	西洋画素材技法特別研究	4	○	○	
	西洋画表現特別研究	4	○	○	
	日本画素材技法特別研究	4	○	○	
	日本画表現特別研究	4	○	○	
	染色工芸素材技法特別研究	4	○		○
	染色工芸表現特別研究	4	○		○
	漆・木工芸素材技法特別研究	4	○		○
	漆・木工芸表現特別研究	4	○		○
	窯芸素材技法特別研究	4	○		○
	窯芸表現特別研究	4	○		○
	陶磁素材特別研究a	4	○		○
	陶磁素材特別研究b	4	○		○
	肥前陶磁技法特別研究a	4	○		○
	肥前陶磁技法特別研究b	4	○		○
	プロダクトデザイン特別研究a	4	○		○
	プロダクトデザイン特別研究b	4	○		○
	現代美術特別研究a	4	○	○	
	現代美術特別研究b	4	○	○	
	映像デザイン特別研究a	4	○	○	○
	映像デザイン特別研究b	4	○	○	○
	概念芸術特別研究a	4	○	○	○
	概念芸術特別研究b	4	○	○	○
	アートコンソーシオン特別研究	4	○	○	○
	美術史特別研究Ⅰ	2	○	○	○
美術史特別研究Ⅱ	2	○	○	○	

地域マネジメントコース

科目分類	授業科目	単位数	高校
			商業
共通基礎科目	応用経済分析	2	○
	応用データ分析	2	○
地域研究 科目群	都市・交通経済分析研究	2	○
	地域マネジメント史研究	2	○
	現代政治経済学研究	2	○
	地域マーケティング研究	2	○
マネジメント研究 科目群	流通経済研究	2	○
	マーケティング研究	2	○
	財務会計研究	2	○
	経営財務研究	2	○
経済・経営研究 科目群	環境法研究	2	○
	マクロ経済学研究	2	○
	開発経済論研究	2	○
	経営情報処理研究	2	○
	経営情報研究	2	○
	経済経営データ分析研究	2	○
	労働関係法研究	2	○
	民事取引法研究	2	○
	国際経済研究	2	○
	国際経済史研究	2	○

## 社会人のための特例による教育の実施について

大学院設置基準第 14 条では、「修士課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合は、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」と規定され、社会人等の修学に配慮がなされています。

本学大学院地域デザイン研究科では、大学院での履修を希望する社会人に対し、同条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。

この概要は、次のとおりです。

### (1) 修業年限

修業年限は 2 年とする。長期履修に関しては、佐賀大学大学院学則第 16 条に従い、原則として入学時に学生からの申し出があった場合、研究科委員会の審議によってこれを認める。

### (2) 履修指導及び研究指導の方法

指導教員は、社会人であることを考慮して、個々人の勤務状況に応じた適切な履修計画を指導する。

### (3) 授業実施方法

社会人学生は、指導教員と相談のうえ、夜間の時間（18：00～19：30）又は集中講義として休業期間中に授業科目を受けることができる。

## 佐賀大学大学院地域デザイン研究科規則

(平成28年2月24日制定)

### (趣旨)

第1条 佐賀大学大学院地域デザイン研究科(以下「研究科」という。)に関する事項は、国立大学法人佐賀大学基本規則(平成16年4月1日制定)、佐賀大学大学院学則(平成16年4月1日制定。以下「大学院学則」という。)及び佐賀大学学位規則(平成16年4月1日制定。以下「学位規則」という。)に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

### (研究科の目的)

第2条 研究科は、芸術、フィールドデザイン、経済・経営の3つの研究教育分野の連携により、芸術分野の持つ「創造力、表現力そして感性」、「自らの意思や意図を表現し伝達するためのコミュニケーション・スキル」、社会科学の分野が提供する「社会やニーズの変化や動向を予測、分析する能力」、そして「人々を通してあるべきことをより良く行い、実現するためのマネジメント能力」を兼ね備えた、各専門分野における「自律的に創造する専門家」として、地域の再生とイノベーションに貢献できる人材を養成することを目的とする。

### (専攻及びコース)

第3条 研究科の専攻に次のコースを置く。

専攻名	コース名
地域デザイン専攻	芸術デザインコース、地域マネジメントコース

2 専攻の目的は、各コースにおいて次に掲げるとおりとする。

- (1) 芸術デザインコース 芸術に関する高度な専門知識と表現技能を修得し、それらを国際的に通用するレベルに発展させるとともに、マネジメントの能力とフィールドデザインの思考を身に付けることにより、幅広い視点から地域の文化芸術・産業の課題を見出し、芸術を通してその課題の解決ができる高度な専門的能力を持った人材を養成すること。
- (2) 地域マネジメントコース 経済・経営の高度な専門的知識の獲得によるマネジメントの能力とグローバル経済における市場の展開を理解し分析できる能力の修得に加え、芸術の表現の理解及びフィールドデザインの思考を身につけることにより、幅広い視点から地域経済と文化の課題の解決と国際的展開ができる高度な専門的能力を持つ人材(ブリッジ・パーソン)を養成すること。

### (指導教員)

第4条 学生の専門とする分野の研究を指導するため、学生ごとに主指導教員1人及び副指導教員2人を置く。

2 前項の副指導教員のうち1人は他の研究教育分野の教員とする。

### (授業科目、単位数及び履修方法)

第5条 授業科目、単位数及び履修方法は、佐賀大学大学院地域デザイン研究科履修細則(平成28年2月24日制定)に定めるところによる。

2 教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は

研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(他の大学院等における授業科目の履修)

第6条 学生は、大学院学則第14条の規定に基づき、他の大学院及び外国の大学院の授業科目を履修することができる。

2 主指導教員は、研究指導上必要があると認めるときは、学生が他の研究科の授業科目を履修することを認めることができる。

第6条の2 研究科は、教育上有益と認めるときは、学生が行う大学院又は他の大学院が編成する特別の課程における学修を、研究科における授業科目の履修とみなし、研究科委員会の議を経て、課程修了の要件となる単位として認定することができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第7条 研究科が必要と認めるときは、大学院学則第15条の規定に基づき、学生が大学院に入学する前に大学院又は他の大学院において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生及び特別の課程履修生として修得した単位を含む。）を、大学院に入学した後の大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(他の大学院等における研究指導)

第8条 学生は、大学院学則第17条の規定に基づき、他の大学院又は研究所等（外国の大学院又は研究所等を含む。）において、必要な研究指導を受けることができる。ただし、当該研究指導を受ける期間は1年を超えないものとする。

2 主指導教員は、研究指導上必要があると認めるときは、学生が他の研究科において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし、当該研究指導を受ける期間は1年を超えないものとする。

(履修手続)

第9条 履修しようとする授業科目については、各学期とも所定の期間に定められた方法により履修手続をしなければならない。ただし、学期の中途から開始される授業科目については、その都度履修手続をしなければならない。

(成績判定及び単位の授与)

第10条 授業科目を履修した場合には、成績判定の上、合格した者に対して所定の単位を与える。

2 成績判定は、平素の学修状況、学修報告、論文及び試験等によって行う。

3 成績は、秀・優・良・可・不可の評語をもって表わし、秀・優・良・可を合格とし、不可は不合格とする。

4 前項の規定にかかわらず、成績の判定に当たり、前項に規定する評語により難いと佐賀大学教育委員会が認めた授業科目においては、合又は不可の評語をもって表すことができるものとし、合を合格とし、不可は不合格とする。

(試験)

第11条 試験は、毎学期末又は毎学年末において授業担当教員が行う。

(学位論文の提出)

第12条 学位規則第7条第1項の規定により、修士の学位の授与を受けようとする者は、申請書類とともに、学位論文を指定した期日までに研究科長に提出しなければならない。

(学位論文審査員)

第13条 佐賀大学大学院地域デザイン研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）は、修士論文の審査のため、研究科の教員の中から3人以上の学位論文審査員（以下「審査員」という。）を選出し、うち1人を主査とする。

2 前項の規定にかかわらず、学位論文の審査に当たって必要があるときは、研究科委員会の議を経て、他の研究科、他の大学院又は研究所等（外国の大学院又は研究所等を含む。）の教員等を審査員に加えることができる。

(入学者の選考)

第14条 入学者の選考は、その志望する専攻を修めるために必要な学力及び能力について行う。

(研究生及び科目等履修生)

第15条 研究科の教育研究に支障のないときは、研究科委員会の議を経て、研究生及び科目等履修生の入学を認めることができる。

2 研究生及び科目等履修生として入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者
- (2) 研究科委員会において前号と同等以上の学力があると認められた者

(特別研究学生)

第16条 研究科は、他の大学院又は外国の大学院等との協議に基づき、他の大学院等の学生が特別研究学生として研究指導を受けることを認めることができる。

(特別聴講学生)

第17条 研究科は、他の大学院又は外国の大学院等との協議に基づき、他の大学院等の学生が特別聴講学生として授業科目を履修することを認めることができる。

(転入学又は再入学を許可された者の既修得単位等の認定)

第18条 研究科に転入学又は再入学を許可された者が、佐賀大学の大学院又は他の大学院（外国の大学院を含む。）で既に修得した単位数及び在学した期間は、研究科委員会の議を経て通算することができる。

(雑則)

第19条 この規則に定めるもののほか、研究科に関し、必要な事項は、研究科委員会において定める。



附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月28日改正）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和2年10月28日改正）

この規則は、令和2年10月28日から施行する。

附 則（令和5年12月27日改正）

この規則は、令和5年12月27日から施行する。

# 佐賀大学大学院地域デザイン研究科履修細則

(平成28年2月24日制定)

(趣旨)

第1条 佐賀大学大学院地域デザイン研究科規則(平成28年2月24日制定。以下「研究科規則」という。)第5条の規定に基づく佐賀大学大学院地域デザイン研究科(以下「研究科」という。)の授業科目、単位数及び履修方法は、この細則の定めるところによる。

(授業科目、単位数及び履修方法)

第2条 授業科目及び単位数は、別表Ⅰ、別表Ⅱ、別表Ⅲ及び別表Ⅳに定めるとおりとする。

2 学生は、別表Ⅰに掲げる共通基礎科目から14単位以上、別表Ⅱに掲げる専門科目から14単位以上、別表Ⅲに掲げる修士論文指導科目から30単位、別表Ⅳに掲げる大学院教養教育プログラムから2単位以上、計60単位以上を修得しなければならない。

3 別表Ⅱの履修に当たっては、学生は1年次の前学期の初めに主として履修する科目群を登録し、その登録した科目群から6単位以上、それ以外の科目群からそれぞれ2単位以上を修得しなければならない。

4 学生(社会人特別選抜により入学した者を除く)の単位について、研究科規則第5条第2項により夜間に開講される授業科目の単位は、10単位までを限度として第2項に定める単位に含めることができる。

(単位認定)

第3条 研究科規則第6条及び第7条の規定により修得した授業科目の単位数は、6単位を限度として、前条第2項の規定により別表Ⅱに掲げる専門科目から修得しなければならない単位のうちに含めることができる。この場合において、単位が認定される科目群については、研究科委員会の議を経て、決定する。

附 則

この細則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成29年1月25日改正)

この細則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成30年1月24日改正)

1 この細則は、平成30年4月1日から施行する。

2 平成30年3月31日において現に在学する者(以下「在學生」という。)及び在學生の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

附 則(平成31年3月6日改正)

1 この細則は、平成31年4月1日から施行する。

2 平成31年3月31日において現に在学する者(以下「在學生」という。)及び在學生の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

附 則(令和2年2月26日改正)

1 この細則は、令和2年4月1日から施行する。

2 令和2年3月31日において現に在学する者(以下「在學生」という。)及び在學生の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

附 則(令和3年2月22日改正)

1 この細則は、令和3年4月1日から施行する。

2 令和3年3月31日において現に在学する者(以下「在學生」という。)及び在學生の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。ただし、改正後の別表Ⅰにおける大学院教養教育プログラム「スポーツ科学特別演習」については、この限りでない。

附 則(令和3年12月22日改正)

この細則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則(令和5年1月18日改正)

この細則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則(令和6年3月19日改正)

この細則は、令和6年4月1日から施行する。

別表Ⅰ（第2条関係）

## 共通基礎科目

科目区分	授業科目	単位数	備考
共通基礎科目	研究基礎論Ⅰ	4	必修
	研究基礎論Ⅱ	4	必修
	※1 応用経済分析	2	} 2 芸術デザインコースは、※1の科目から2単位以上を修得すること。
	※1 応用データ分析	2	
	※1 国際関係と地域研究	2	
	※2 地域創生とアート	2	} 2 地域マネジメントコースは、※2の科目から2単位以上を修得すること。
	※2 キュレーション演習	2	
	※2 キュレーション特別研究 a	2	
	※2 ヘリテージマネジメント論	2	
	異文化コミュニケーション a	2	
	やきものによる地域創生	2	
	都市デザイン論	2	
	都市空間論	2	
	修了に必要な最小単位数		14

別表Ⅱ－1（第2条関係）

## 芸術デザインコース

科目区分	授業科目	単位数	備考	
専門科目	地域研究科目群	都市デザイン特別研究	2	・主として履修する科目群から6単位以上、それ以外の科目群からそれぞれ2単位以上を修得すること。
		都市空間特別研究	2	
		地域史特別研究Ⅰ	2	
		地域史特別研究Ⅱ	2	
		文化交流史研究 a	2	
		文化交流史研究 b	2	
		都市・交通経済分析研究	2	
		地域マネジメント史研究	2	
		現代政治経済学研究	2	
		地域マーケティング研究	2	

マネジメント研究科目群	キュレーション特別研究 b	2	・主として履修する科目群から 6 単位以上、それ以外の科目群からそれぞれ 2 単位以上を修得すること。
	芸術文化遺産特別研究	4	
	アートマネジメント・プロデュース特別研究 a	2	
	アートマネジメント・プロデュース特別研究 b	2	
	ヘリテージマネジメント特別研究	2	
	異文化コミュニケーション b	2	
	流通経済研究	2	
	マーケティング研究	2	
	財務会計研究	2	
	経営財務研究	2	
芸術研究科目群	視覚デザイン特別研究 a	4	・主として履修する科目群から 6 単位以上、それ以外の科目群からそれぞれ 2 単位以上を修得すること。
	視覚デザイン特別研究 b	4	
	情報デザイン特別研究 a	4	
	情報デザイン特別研究 b	4	
	彫刻素材技法特別研究	4	
	彫刻表現特別研究	4	
	西洋画素材技法特別研究	4	
	西洋画表現特別研究	4	
	日本画素材技法特別研究	4	
	日本画表現特別研究	4	
	染色工芸素材技法特別研究	4	
	染色工芸表現特別研究	4	
	漆・木工芸素材技法特別研究	4	
	漆・木工芸表現特別研究	4	
	窯芸素材技法特別研究	4	
	窯芸表現特別研究	4	
	陶磁素材特別研究 a	4	
	陶磁素材特別研究 b	4	
	肥前陶磁技法特別研究 a	4	
	肥前陶磁技法特別研究 b	4	
	プロダクトデザイン特別研究 a	4	
	プロダクトデザイン特別研究 b	4	
	現代美術特別研究 a	4	
	現代美術特別研究 b	4	
	映像デザイン特別研究 a	4	
	映像デザイン特別研究 b	4	
	概念芸術特別研究 a	4	
	概念芸術特別研究 b	4	
	アートコンソーシオン特別研究	4	
	美術史特別研究 I	2	
美術史特別研究 II	2		
修了に必要な最小単位数		14	

別表Ⅱ－２（第２条関係）  
地域マネジメントコース

科目区分		授業科目	単位数	備考
専門科目	地域研究科目群	都市デザイン特別研究	2	・主として履修する科目群から6単位以上、それ以外の科目群からそれぞれ2単位以上を修得すること。
		都市空間特別研究	2	
		地域史特別研究Ⅰ	2	
		地域史特別研究Ⅱ	2	
		文化交流史研究 a	2	
		文化交流史研究 b	2	
		都市・交通経済分析研究	2	
		地域マネジメント史研究	2	
		現代政治経済学研究	2	
		地域マーケティング研究	2	
	マネジメント研究科目群	キュレーション特別研究 b	2	・主として履修する科目群から6単位以上、それ以外の科目群からそれぞれ2単位以上を修得すること。
		芸術文化遺産特別研究	4	
		アートマネジメント・プロデュース特別研究 a	2	
		アートマネジメント・プロデュース特別研究 b	2	
		ヘリテージマネジメント特別研究	2	
		異文化コミュニケーション b	2	
		流通経済研究	2	
		マーケティング研究	2	
		マーケティングサイエンス研究	2	
		財務会計研究	2	
	経営財務研究	2		
	経済・経営研究科目群	環境法研究	2	・主として履修する科目群から6単位以上、それ以外の科目群からそれぞれ2単位以上を修得すること。
		マクロ経済学研究	2	
		応用ミクロ経済分析	2	
		開発経済論研究	2	
		証券分析研究	2	
		経営情報処理研究	2	
		経営情報研究	2	
		経済経営データ分析研究	2	
		日本経済研究	2	
応用計量経済学研究		2		
労働関係法研究		2		
民事取引法研究		2		
社会保障法研究		2		
国際経済研究		2		
国際経済史研究		2		
農業経済研究		2		
経済学史研究		2		
修了に必要な最小単位数			14	

別表Ⅲ（第2条関係）

科目区分		授業科目	単位数	備考
修士論文 指導科目	特別演習	特別演習Ⅰ	4	必修
		特別演習Ⅱ	4	必修
	課題研究	課題研究Ⅰ	10	必修
		課題研究Ⅱ	12	必修
修了に必要な最小単位数			30	

別表Ⅳ（第2条関係）

科目区分	授業科目	単位数	備考
大学院教養教育プログラム	キャリアデザイン特論	1	
	多文化共生理解	1	
	※ 地域連携キャリア研修	2	※ 留学生限定科目
	※ 地域連携インターンシップ	1	※ 留学生限定科目
	ダイバーシティ・人権教育特論	1	
	スポーツ科学特別演習	1	
	研究・職業倫理特論	1	
	情報セキュリティ特論	1	
	データサイエンス特論	1	
	学術英語特論	1	
修了に必要な最小単位数		2	

## 地域デザイン研究科 設置科目

専攻名	科目分類	科目名	必・選	形態	単位数	学年	学期	担当教員		
地域デザイン専攻	大学院教養教育プログラム	研究・職業倫理特論	選必	講義	1	M1	前期			
		情報セキュリティ特論	選必	講義	1	M1	前期			
		データサイエンス特論	選必	講義	1	M1	後期			
		学術英語特論	選必	講義	1	M1	前・後期			
		ダイバーシティ・人権教育特論	選必	講義	1	M1	後期			
		スポーツ科学特別演習	選必	講義	1	M1	前・後期			
		キャリアデザイン特論	選必	講義	1	M1	前期			
		多文化共生理解	選必	講義	1	M1				
		地域連携キャリア研修	選必	講義	2	M1	前・後期			
		地域連携インターンシップ	選必	講義	1	M1				
	共通基礎科目	研究基礎論Ⅰ	必修	講義	4	M1	前・後期	指導教員		
		研究基礎論Ⅱ	必修	講義	4	M1	前・後期	指導教員		
		異文化コミュニケーションa	選択	講義	2	M1	前期	ホートン・ステファニー・アン		
		地域創生とアート	選択	講義	2	M1	前期	(オムニバス)		
		キュレーション演習	選択	演習	2	M1	後期	花田伸一		
		応用経済分析	選択	講義	2	M1	前期	亀山嘉大		
		応用データ分析	選択	講義	2	M1	前期	中村博和		
		国際関係と地域研究	選択	講義	2	M1	後期	山崎功		
		やきものによる地域創生	選択	演習	2	M1	後期	田中右紀		
		キュレーション特別研究a	選択	講義	2	M1	後期	藤井康隆		
		ヘリテージマネジメント論	選択	講義	2	M1	後期	令和6年度非開講		
		都市デザイン論	選択	講義	2	M1	前期	有馬隆文		
		都市空間論	選択	講義	2	M1	前期	栗林賢		
	芸術教育研究分野	視覚デザイン特別研究a	選択	演習	4	M1	前期	令和6年度非開講		
		視覚デザイン特別研究b	選択	演習	4	M1	後期	令和6年度非開講		
		情報デザイン特別研究a	選択	演習	4	M1	前期	阿部浩之		
		情報デザイン特別研究b	選択	演習	4	M1	後期	阿部浩之		
		彫刻素材技法特別研究	選択	演習	4	M1	前期	徳安和博		
		彫刻表現特別研究	選択	演習	4	M1	後期	徳安和博		
		西洋画素材技法特別研究	選択	演習	4	M1	前期	富田俊明		
		西洋画表現特別研究	選択	演習	4	M1	後期	富田俊明		
		日本画素材技法特別研究	選択	演習	4	M1	前期	近藤恵介		
		日本画表現特別研究	選択	演習	4	M1	後期	近藤恵介		
		染色工芸素材技法特別研究	選択	演習	4	M1	前期	(非常勤)田中嘉生		
		染色工芸表現特別研究	選択	演習	4	M1	後期	(非常勤)田中嘉生		
		漆・木工芸素材技法特別研究	選択	演習	4	M1	前期	井川健		
		漆・木工芸表現特別研究	選択	演習	4	M1	後期	井川健		
		窯芸素材技法特別研究	選択	演習	4	M1	前期	田中右紀		
		窯芸表現特別研究	選択	演習	4	M1	後期	田中右紀		
		陶磁素材特別研究a	選択	演習	4	M1	前期	湯之原淳		
		陶磁素材特別研究b	選択	演習	4	M1	後期	湯之原淳		
		肥前陶磁技法特別研究a	選択	演習	4	M1	前期	甲斐広文		
		肥前陶磁技法特別研究b	選択	演習	4	M1	後期	甲斐広文		
		プロダクトデザイン特別研究a	選択	演習	4	M1	前期	三木悦子		
		プロダクトデザイン特別研究b	選択	演習	4	M1	後期	三木悦子		
		現代美術特別研究a	選択	演習	4	M1	前期	柳健司		
		現代美術特別研究b	選択	演習	4	M1	後期	柳健司		
		映像デザイン特別研究a	選択	演習	4	M1	前期	中村隆敏		
		映像デザイン特別研究b	選択	演習	4	M1	後期	中村隆敏		
		概念芸術特別研究a	選択	演習	4	M1	前期	土屋貴哉		
		概念芸術特別研究b	選択	演習	4	M1	後期	土屋貴哉		
		専門科目	フィールドデザイン教育研究分野	キュレーション特別研究b	選択	講義	2	M1	前期	藤井康隆
				アートコンサベーション特別研究	選択	演習	4	M1	前期	石井美恵
				芸術文化遺産特別研究	選択	演習	4	M1	後期	石井美恵
				美術史特別研究Ⅰ	選択	講義	2	M1	前期	吉住磨子
				美術史特別研究Ⅱ	選択	講義	2	M1	後期	吉住磨子
				アートマネジメント・プロデュース特別研究a	選択	講義	2	M1	前期	花田伸一
				アートマネジメント・プロデュース特別研究b	選択	講義	2	M1	後期	花田伸一
				ヘリテージマネジメント特別研究	選択	講義	2	M1	前期	重藤輝行
				異文化コミュニケーションb	選択	講義	2	M1	後期	ホートン・ステファニー・アン
				文化交流史研究a	選択	講義	2	M1	前期	中尾友香梨
			文化交流史研究b	選択	講義	2	M1	後期	中尾友香梨	
			都市デザイン特別研究	選択	講義	2	M1	後期	有馬隆文	
			都市空間特別研究	選択	講義	2	M1	後期	栗林賢	
			地域史特別研究Ⅰ	選択	講義	2	M1	前期	令和6年度非開講	
			地域史特別研究Ⅱ	選択	講義	2	M1	後期	山崎功	
			フィールドデザイン教育研究分野	都市・交通経済分析研究	選択	講義	2	M1	後期	亀山嘉大
				地域マネジメント史研究	選択	講義	2	M1	前期	山本長次
	現代政治経済学研究			選択	講義	2	M1	前期	中西一	
	環境法研究			選択	講義	2	M1	前期	櫻澤秀木	
	経済学史研究			選択	講義	2	M1	前期	伊藤正哉	
	日本経済研究	選択		講義	2	M1	前期	園田竜之介		
	マーケティングサイエンス研究	選択		講義	2	M1	後期	関康彦		
	社会保障法研究	選択		講義	2	M1	前期	平部康子		
	流通経済研究	選択		講義	2	M1	前期	宮崎卓朗		
	マーケティング研究	選択		講義	2	M1	後期	洪廷和		
	地域マーケティング研究	選択	講義	2	M1	前期	山口夕妃子			
	応用ミクロ経済分析	選択	講義	2	M1	前期	吉田友紀			
	マクロ経済学研究	選択	講義	2	M1	後期	谷晶紅			
	開発経済論研究	選択	講義	2	M1	後期	サーリヤ・ディ・シルバ			
	管理会計研究	選択	講義	2	M1	前期	角田幸太郎			
	財務会計研究	選択	講義	2	M1	後期	山形武裕			
	経営情報処理研究	選択	講義	2	M1	前期	安田伸一			
	経営情報研究	選択	講義	2	M1	後期	羽石寛志			
	経済経営データ分析研究	選択	講義	2	M1	後期	中村博和			
	応用計量経済学研究	選択	講義	2	M1	後期	上山和俊			
	経営財務研究	選択	講義	2	M1	後期	野方大輔			
	証券分析研究	選択	講義	2	M1	後期	篠崎伸也			
	労働関係法研究	選択	講義	2	M1	前期	早川智津子			
	民事取引法研究	選択	講義	2	M1	後期	中山泰道			
	国際経済研究	選択	講義	2	M1	前期	張韓模			
	国際経済史研究	選択	講義	2	M1	後期	金子晋右			
	農業経済研究	選択	講義	2	M1	前期	品川優			
	修士論文指導科目	特別演習	特別演習Ⅰ	必修	演習	4	M1	前・後期	指導教員	
			特別演習Ⅱ	必修	演習	4	M1	前・後期	指導教員	
		課題研究	課題研究Ⅰ	必修	演習	10	M2	前・後期	指導教員	
			課題研究Ⅱ	必修	演習	12	M2	前・後期	指導教員	

令和6年度 芸術デザインコース 開講科目一覧

専攻名	科目分類	科目名	単位数	学年	学期	担当教員	備考
大学院教養教育プログラム		研究・職業倫理特論	1	M1	前期		「地域連携キャリア研修」、「地域連携インターンシップ」は、留学生限定科目
		情報セキュリティ特論	1	M1	前期		
		データサイエンス特論	1	M1	後期		
		学術英語特論	1	M1	前・後期		
		ダイバーシティ・人権教育特論	1	M1	後期		
		スポーツ科学特別演習	1	M1	前・後期		
		キャリアデザイン特論	1	M1	前期		
		多文化共生理解	1	M1			
		地域連携キャリア研修	2	M1	前・後期		
		地域連携インターンシップ	1	M1			
共通基礎科目		研究基礎論Ⅰ	4	M1	前・後期	指導教員	
		研究基礎論Ⅱ	4	M1	前・後期	指導教員	
		異文化コミュニケーションa	2	M1	前期	ホートン・ステファニー・アン	
		地域創生とアート	2	M1	前期	(オムニバス)	
		キュレーション演習	2	M1	後期	花田伸一	
		応用経済分析	2	M1	前期	亀山嘉大	
		応用データ分析	2	M1	前期	中村博和	
		国際関係と地域研究	2	M1	後期	山崎 功	
		やきものによる地域創生	2	M1	後期	田中右紀	
		キュレーション特別研究a	2	M1	後期	藤井康隆	
		ヘリテージマネジメント論	2	M1	後期	令和6年度非開講	
		都市デザイン論	2	M1	前期	有馬隆文	
		都市空間論	2	M1	前期	栗林 賢	
		地域デザイン専攻	地域研究 科目群	都市デザイン特別研究	2	M1	後期
都市空間特別研究	2			M1	後期	栗林 賢	
地域史特別研究Ⅰ	2			M1	前期	令和6年度非開講	
地域史特別研究Ⅱ	2			M1	後期	山崎 功	
文化交流史研究a	2			M1	前期	中尾友香梨	
文化交流史研究b	2			M1	後期	中尾友香梨	
都市・交通経済分析研究	2			M1	後期	亀山嘉大	
地域マネジメント史研究	2			M1	前期	山本長次	
現代政治経済学研究	2			M1	前期	中西 一	
地域マーケティング研究	2			M1	前期	山口夕妃子	
マネジメント研究 科目群	キュレーション特別研究b		2	M1	前期	藤井康隆	【修了要件】 学生は、どの科目群を主たる履修科目群とするかを1年次の履修登録時に登録し、その登録した科目群から6単位以上を、それ以外の科目群からそれぞれ2単位以上を修得すること。
	芸術文化遺産特別研究		4	M1	後期	石井美恵	
	アートマネジメント・プロデュース特別研究a		2	M1	前期	花田伸一	
	アートマネジメント・プロデュース特別研究b		2	M1	後期	花田伸一	
	ヘリテージマネジメント特別研究		2	M1	前期	重藤輝行	
	異文化コミュニケーションb		2	M1	後期	ホートン・ステファニー・アン	
	流通経済研究		2	M1	前期	宮崎卓朗	
	マーケティング研究		2	M1	後期	洪 廷和	
	マーケティングサイエンス研究		2	M1	後期	関庚炫	
	財務会計研究		2	M1	後期	山形武裕	
経営財務研究	2		M1	後期	野方大輔		
芸術研究 科目群	視覚デザイン特別研究a		4	M1	前期	令和6年度非開講	【修了要件】 学生は、どの科目群を主たる履修科目群とするかを1年次の履修登録時に登録し、その登録した科目群から6単位以上を、それ以外の科目群からそれぞれ2単位以上を修得すること。
	視覚デザイン特別研究b		4	M1	後期	令和6年度非開講	
	情報デザイン特別研究a		4	M1	前期	阿部浩之	
	情報デザイン特別研究b		4	M1	後期	阿部浩之	
	彫刻素材技法特別研究		4	M1	前期	徳安和博	
	彫刻表現特別研究		4	M1	後期	徳安和博	
	西洋画素材技法特別研究		4	M1	前期	富田俊明	
	西洋画表現特別研究		4	M1	後期	富田俊明	
	日本画素材技法特別研究		4	M1	前期	近藤恵介	
	日本画表現特別研究		4	M1	後期	近藤恵介	
	染色工芸素材技法特別研究		4	M1	前期	(非常勤)田中嘉生	
	染色工芸表現特別研究		4	M1	後期	(非常勤)田中嘉生	
	漆・木工芸素材技法特別研究		4	M1	前期	井川 健	
	漆・木工芸表現特別研究	4	M1	後期	井川 健		
	窯芸素材技法特別研究	4	M1	前期	田中右紀		
	窯芸表現特別研究	4	M1	後期	田中右紀		
	陶磁素材特別研究a	4	M1	前期	湯之原淳		
	陶磁素材特別研究b	4	M1	後期	湯之原淳		
	肥前陶磁技法特別研究a	4	M1	前期	甲斐広文		
	肥前陶磁技法特別研究b	4	M1	後期	甲斐広文		
	プロダクトデザイン特別研究a	4	M1	前期	三木悦子		
	プロダクトデザイン特別研究b	4	M1	後期	三木悦子		
	現代美術特別研究a	4	M1	前期	柳 健司		
	現代美術特別研究b	4	M1	後期	柳 健司		
	映像デザイン特別研究a	4	M1	前期	中村隆敏		
	映像デザイン特別研究b	4	M1	後期	中村隆敏		
	概念芸術特別研究a	4	M1	前期	土屋貴哉		
	概念芸術特別研究b	4	M1	後期	土屋貴哉		
	アートコンソーシアム特別研究	4	M1	前期	石井美恵		
	美術史特別研究Ⅰ	2	M1	前期	吉住磨子		
美術史特別研究Ⅱ	2	M1	後期	吉住磨子			
修士論文 指導科目	特別演習	特別演習Ⅰ	4	M1	前・後期	指導教員	
		特別演習Ⅱ	4	M1	前・後期	指導教員	
	課題研究	課題研究Ⅰ	10	M2	前・後期	指導教員	
		課題研究Ⅱ	12	M2	前・後期	指導教員	



令和6年度 地域マネジメントコース 開講科目一覧

専攻名	科目分類	科目名	単位数	学年	学期	担当教員	備考
大学院教養教育プログラム		研究・職業倫理特論	1	M1	前期		「地域連携キャリア研修」、「地域連携インターンシップ」は、留学生限定科目
		情報セキュリティ特論	1	M1	前期		
		データサイエンス特論	1	M1	後期		
		学術英語特論	1	M1	前・後期		
		ダイバーシティ・人権教育特論	1	M1	後期		
		スポーツ科学特別演習	1	M1	前・後期		
		キャリアデザイン特論	1	M1	前期		
		多文化共生理解	1	M1			
		地域連携キャリア研修	2	M1	前・後期		
		地域連携インターンシップ	1	M1			
共通基礎科目		研究基礎論Ⅰ	4	M1	前・後期	指導教員	
		研究基礎論Ⅱ	4	M1	前・後期	指導教員	
		異文化コミュニケーションa	2	M1	前期	ホートン・ステファニー・アン	
		地域創生とアート	2	M1	前期	(オムニバス)	
		キュレーション演習	2	M1	後期	花田伸一	
		応用経済分析	2	M1	前期	亀山嘉大	
		応用データ分析	2	M1	前期	中村博和	
		国際関係と地域研究	2	M1	後期	山崎 功	
		やきものによる地域創生	2	M1	後期	田中右紀	
		キュレーション特別研究a	2	M1	後期	藤井康隆	
		ヘリテージマネジメント論	2	M1	後期	令和6年度非開講	
		都市デザイン論	2	M1	前期	有馬隆文	
		都市空間論	2	M1	前期	栗林 賢	
		地域デザイン専攻	地域研究 科目群	都市デザイン特別研究	2	M1	後期
都市空間特別研究	2			M1	後期	栗林 賢	
地域史特別研究Ⅰ	2			M1	前期	令和6年度非開講	
地域史特別研究Ⅱ	2			M1	後期	山崎 功	
文化交流史研究a	2			M1	前期	中尾友香梨	
文化交流史研究b	2			M1	後期	中尾友香梨	
都市・交通経済分析研究	2			M1	後期	亀山嘉大	
地域マネジメント史研究	2			M1	前期	山本長次	
現代政治経済学研究	2			M1	前期	中西 一	
地域マーケティング研究	2			M1	前期	山口夕妃子	
マネジメント研究 科目群	キュレーション特別研究b		2	M1	前期	藤井康隆	【修了要件】 学生は、どの科目群を主たる履修科目群とするかを1年次の履修登録時に登録し、その登録した科目群から6単元以上を、それ以外の科目群からそれぞれ2単元以上を修得すること。
	芸術文化遺産特別研究		4	M1	後期	石井美恵	
	アートマネジメント・プロデュース特別研究a		2	M1	前期	花田伸一	
	アートマネジメント・プロデュース特別研究b		2	M1	後期	花田伸一	
	ヘリテージマネジメント特別研究		2	M1	前期	重藤輝行	
	異文化コミュニケーションb		2	M1	後期	ホートン・ステファニー・アン	
	流通経済研究		2	M1	前期	宮崎卓朗	
	マーケティング研究		2	M1	後期	洪 廷和	
	マーケティングサイエンス研究		2	M1	後期	関庚炫	
	財務会計研究		2	M1	後期	山形武裕	
経営財務研究	2		M1	後期	野方大輔		
経済・経営研究 科目群	応用ミクロ経済分析		2	M1	前期	吉田友紀	【修了要件】 学生は、どの科目群を主たる履修科目群とするかを1年次の履修登録時に登録し、その登録した科目群から6単元以上を、それ以外の科目群からそれぞれ2単元以上を修得すること。
	マクロ経済学研究		2	M1	後期	谷 晶紅	
	応用計量経済学研究		2	M1	後期	上山和俊	
	経済経営データ分析研究		2	M1	後期	中村博和	
	日本経済研究		2	M1	前期	園田竜之介	
	開発経済論研究		2	M1	後期	サーリヤ・ディ・シルバ	
	国際経済研究		2	M1	前期	張 韓模	
	国際経済史研究		2	M1	後期	金子晋右	
	農業経済研究		2	M1	前期	品川 優	
	経済学史研究	2	M1	前期	伊藤正哉		
	管理会計研究	2	M1	前期	角田幸太郎		
	証券分析研究	2	M1	後期	篠崎伸也		
	経営情報研究	2	M1	後期	羽石寛志		
	経営情報処理研究	2	M1	前期	安田伸一		
	労働関係法研究	2	M1	前期	早川智津子		
	民事取引法研究	2	M1	後期	中山泰道		
社会保障法研究	2	M1	前期	平部康子			
環境法研究	2	M1	前期	樫澤秀木			
修士論文 指導科目	特別演習	特別演習Ⅰ	4	M1	前・後期	指導教員	
		特別演習Ⅱ	4	M1	前・後期	指導教員	
	課題研究	課題研究Ⅰ	10	M2	前・後期	指導教員	
		課題研究Ⅱ	12	M2	前・後期	指導教員	